

第48回日本薬剤師会学術大会で発表してきました

真のセルフメディケーション支援薬局を目指して

～10年間の模索と模擬店舗「セルフメディケーション薬局」の展開～

- 第48回年の日本薬剤師会学術大会は、11月22日～23日に鹿児島で開催されました。私は、ふあるま・ねっと・みやぎを代表して、「真のセルフメディケーション支援薬局を目指して～10年間の模索と模擬店舗の展開～」という演題で、ふあるま・ねっと・みやぎの10年間の活動をポスターで発表してきました。
- 10年間のセルフメディケーション推進支援のための活動を紹介し、2015年2月に行われた設立10周年の記念事業の模擬店舗「セルフメディケーション薬局」での健康推進拠点となり得る薬局の姿と薬剤師の想いを模擬的に表現した企画を紹介しました。参加者のアンケートの結果も示し、企画に参加し薬剤師の説明の前後で、薬剤師や薬局の役割の認識の変化も報告しました。
- ポスターを見にきた方は多くはありませんでしたが、みなさんが、ふあるま・ねっと・みやぎの活動に共感してくれました。質疑の中でセルフメディケーション支援の重要性について意見交換することができました。
- 国民の主体的な健康の保持増進を積極的に支援する「健康サポート薬局」が政府から打ち出されています。地域で真のセルフメディケーション支援薬局を目指す活動は、今後もさらに重要になってくると思います。(金田早苗)

